

札幌市外国籍市民意識調査 報告書（ダイジェスト版）

【調査概要】

1 調査の目的

多文化共生のまちづくりを推進していくために、外国籍市民の市政に対する意見や生活上の課題等を把握し、今後の施策立案や情報提供等に役立てるため、市内在住の外国籍市民に対し、広く意識調査を実施する。

2 調査方法

- ① 調査地域：札幌市全域
- ② 調査対象：札幌市内に外国人登録を行っている18歳以上の市民
- ③ 標本数：2,000
- ④ 抽出方法：無作為抽出
- ⑤ 調査方法：郵送（往復）
- ⑥ 調査期間：2008年8月14日～9月11日
- ⑦ 設問数：51問
- ⑧ 調査票：国籍により英語、中国語、ハングル、ロシア語版のいずれかと、日本語版を送付
- ⑨ 有効回答数：337通

2009年2月

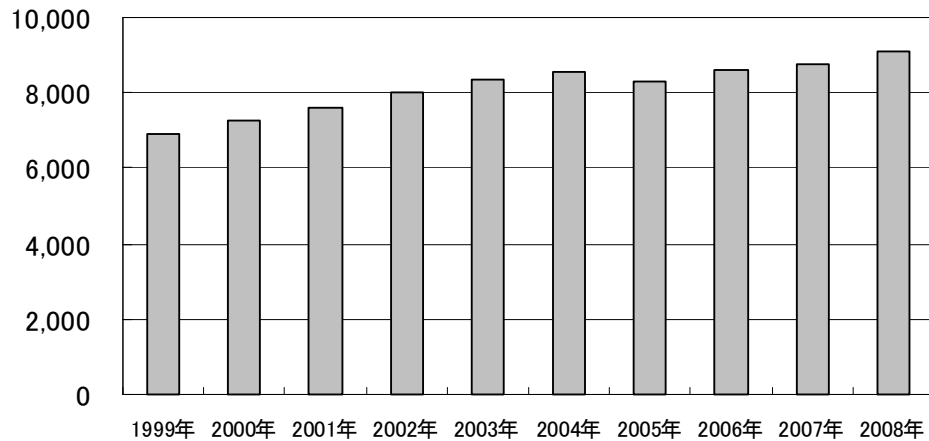
札幌市総務局国際部

札幌市の外国籍市民の現状

1、札幌市の外国人数の推移

189万人の人口を有する札幌市では、2008年3月末現在で9,126人が外国人登録をしています（人口の約0.48%）。

1999年には6,920人だった外国人登録数は、2008年までにおよそ1.3倍に増加しています。



しかしながら、札幌市は全国の政令指定都市の中では総人口に対する外国人比率が最も低く、外国人が多い大阪市（4.63%）、浜松市（3.93%）（いずれも2007年4月時点）などと比較すると10分の1程度で、全ての各市町村を含めた全国平均（1.69%）と比較しても3分の1程度の割合です。

2、札幌市に住む外国籍市民の国籍

札幌市に外国人登録をしている人の国籍のうち、2008年3月末現在、最も多いのは中国で3,255人、韓国・朝鮮が2,714人で、これらを合わせると全体の65.4%を占めます。以下、米国、フィリピン、ロシアと続きますが、地域別で見るとアジアが77%と大半を占め、次いで北中南米が9%、ヨーロッパが5%です。

次のページの表が、地域別の外国人登録者数と、外国人登録の多い国上位10カ国です。

＜地域別 外国人登録数＞

アジア	7,054人
オセアニア	223人
中東	44人
NIS諸国	320人
ヨーロッパ	458人
アフリカ	164人
北・中・南米	858人
無国籍	5人

＜外国人登録数 上位10カ国＞

中国	3,255人
韓国・朝鮮	2,714人
米国	522人
フィリピン	316人
ロシア	267人
カナダ	166人
英国	163人
オーストラリア	150人
ネパール	122人
インドネシア	108人

3、在留資格別の外国人登録数

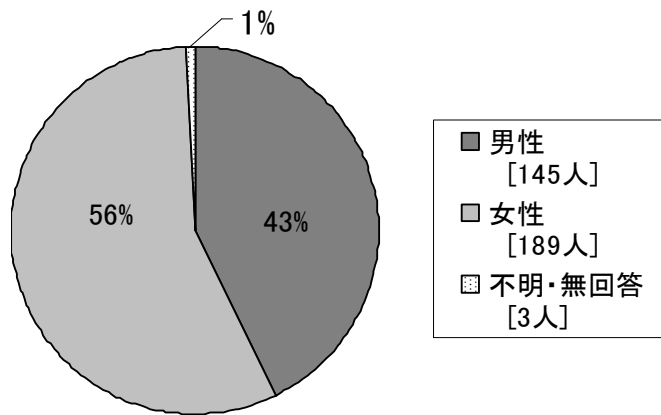
札幌市に外国人登録している人の在留資格は、全国と比較すると、大学関係者(札幌3%・全国0.4%)や留学生(札幌15.3%・全国6.3%)、人文知識・国際業務(札幌4.2%・全国2.7%)、家族滞在(札幌10.6%・全国4.4%)など学術関係者とその家族が多く、1990年の入管法改正以来急激に増加している、就労に制限のない日系人を含む「定住者」が非常に少ないことが特徴です。

＜札幌市に外国人登録している人の在留資格＞

教授	273人	3.0%
芸術	2人	0.0%
宗教	122人	1.3%
投資・経営	37人	0.4%
医療	8人	0.1%
研究	14人	0.2%
教育	103人	1.1%
技術	123人	1.3%
人文知識・国際業務	387人	4.2%
企業内転勤	42人	0.5%
興行	31人	0.3%
技能	189人	2.1%
文化活動	48人	0.5%
短期滞在	123人	1.3%
留学	1,397人	15.3%
就学	427人	4.7%
研修	97人	1.1%
家族滞在	971人	10.6%
特定活動	140人	1.5%
特別永住者	1,765人	19.3%
永住者	1,792人	19.6%
日本人の配偶者等	749人	8.2%
永住者の配偶者等	47人	0.5%
定住者	214人	2.3%
その他	43人	0.5%
合計(2008年7月25日現在)	9,144人	

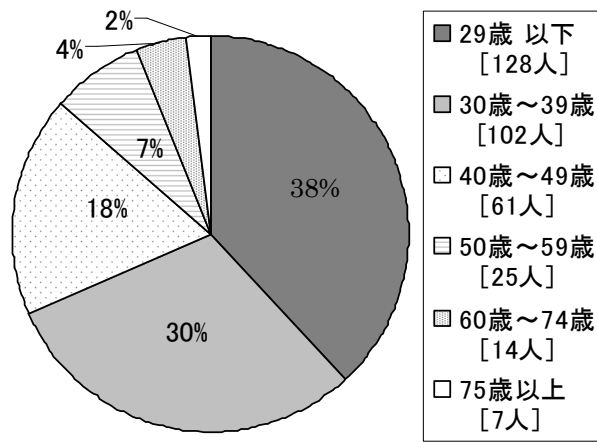
1 回答者の属性

問1 あなたの性別はどちらですか？



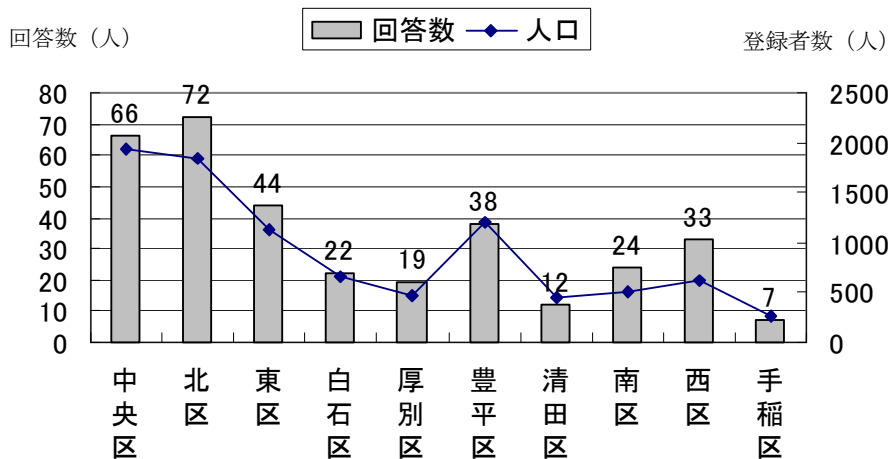
[性別]
回答者のうち、女性の割合が男性を13%上回っています。
(参考) 市内の外国人登録者の男女比は男性51.5%、女性48.5%

問2 あなたは何歳ですか？あてはまるものを選んでください。



[年齢]
20代、次いで30代からの回答が多く、両者と併せると約70%を占めます。

問3 あなたが住んでいる区はどちらですか？



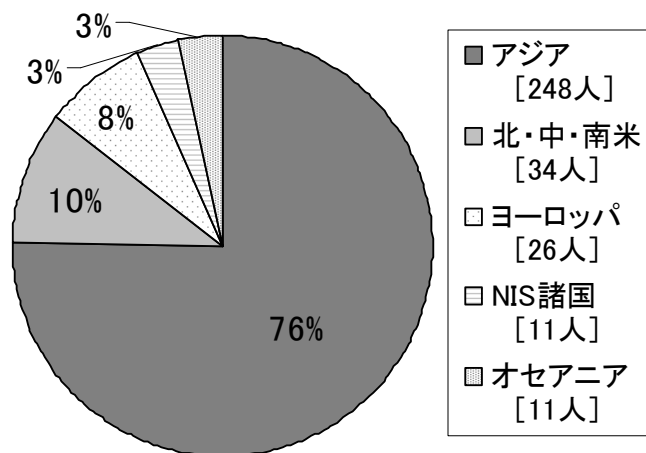
[居住区]

各区の外国人登録数の割合と回答者の居住区数は、ほぼ一致していました。

問4 あなたの国籍はどれですか？

中国(台湾含む)	131人
韓国・朝鮮	65人
米国	16人
フィリピン	11人
ロシア	11人
カナダ	10人
英国	9人
オーストラリア	8人
タイ	6人
インドネシア	5人

回答の多かった国トップ10

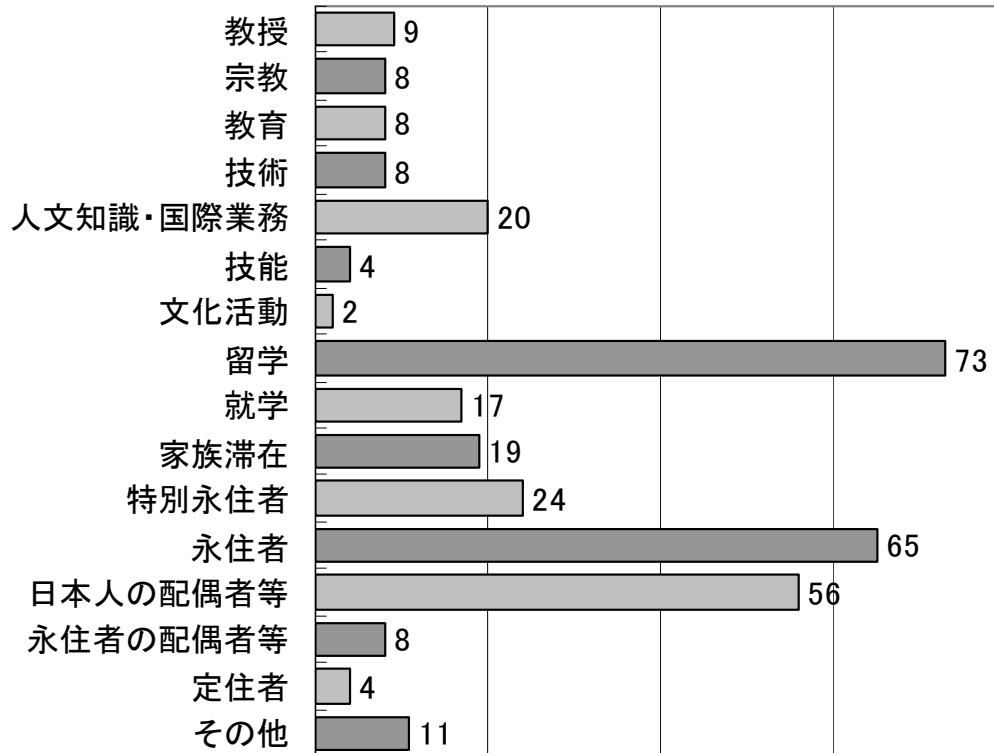


地域別の割合

[国籍]

中国が全体の約3割、アジア全体では76%を占めています。

問5 あなたの在留資格は何ですか？



[在留資格]

留學が22%、特別永住者・永住者・配偶者・定住者など長期的な在留の可能性があるものが46%でした。

問6 あなたは日本に何年くらい住んでいますか？

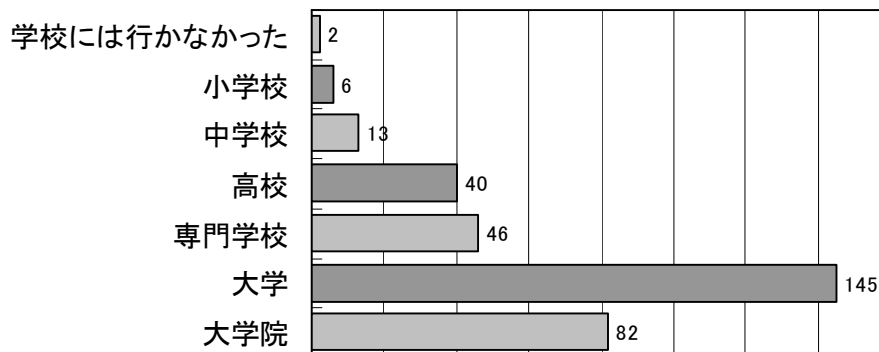
問7 あなたは今後、何年くらい札幌に住む予定ですか？

凡例	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年以上	不明・ 無回答
日本に何年くらい 住んでいますか？	72 21%	60 18%	34 10%	63 19%	62 19%	45 13%	
今後、何年くらい 札幌に住む予定 ですか？	38 11%	70 22%	45 13%	29 9%	24 7%	121 36%	10 3%

[日本の居住年数]
居住年数3年未満が約4割、3年～10年が約3割、10年以上が約3割でした。

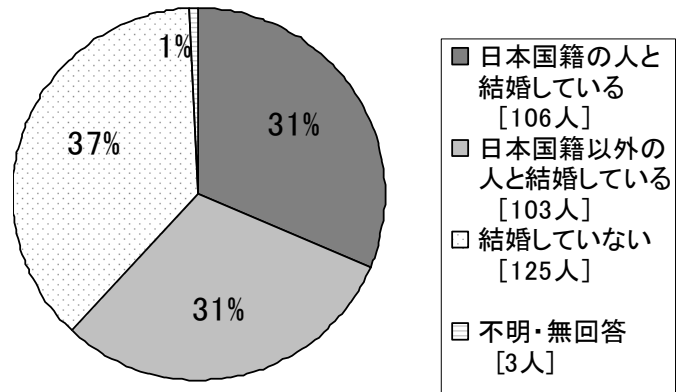
[札幌での居住予定年数]
今後5年以上の居住を予定する回答者が半数を超えています。

問8 あなたが最後に卒業した学校はどれですか？在学中の場合は、通っている学校をお答えください。



[年齢]
大学または大学院と回答した人が7割弱を占めています。

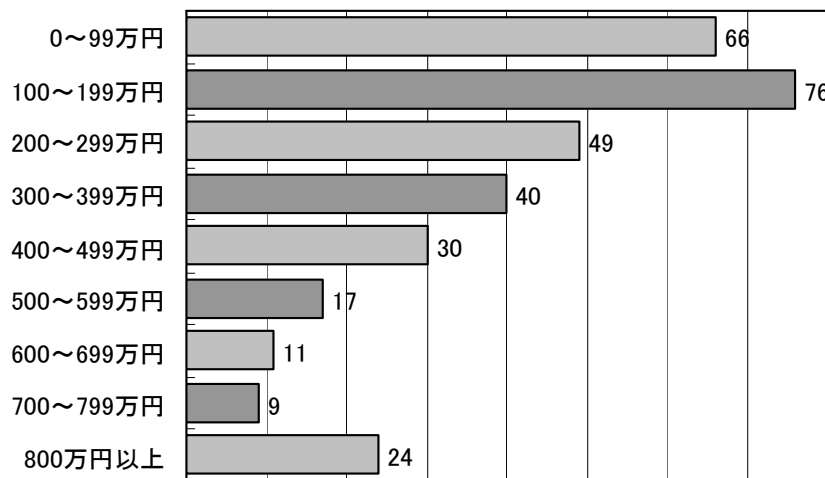
問9 あなたは結婚していますか？



[結婚]

回答者のうち、日本人と結婚している人、日本人以外と結婚している人、結婚していない人は同程度の割合でした。

問10 あなたの世帯の年収はどのくらいですか？

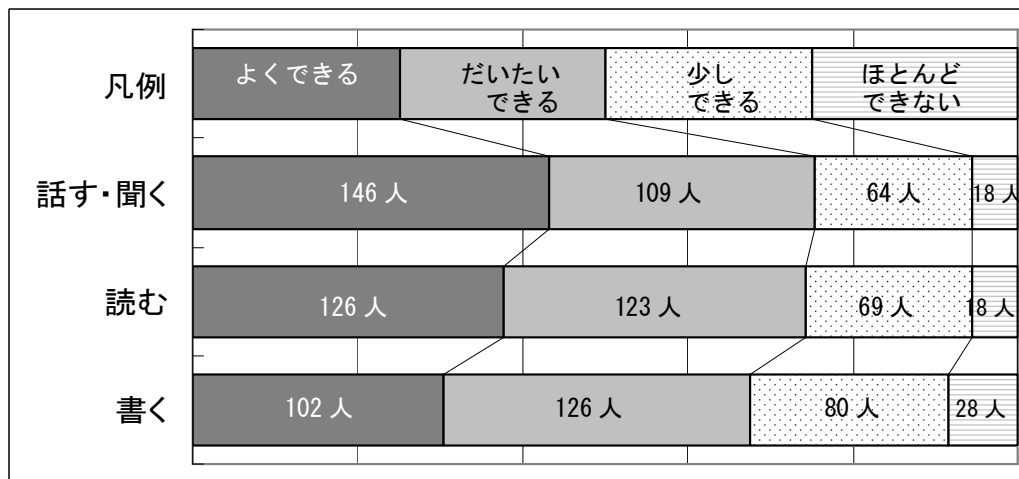


[年齢]

年収100万円以下が20%、200万円以下が44%であり、500万円を超える世帯は19%でした。

言語

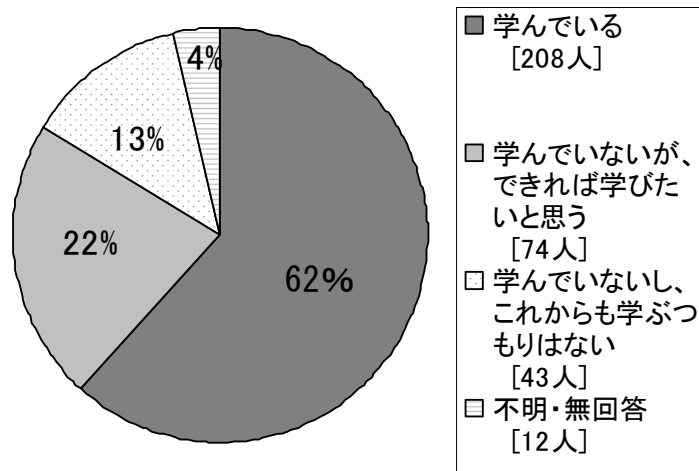
問 11 日本語はどのくらいできますか？



〔日本語能力〕

「話す・聞く」→「読む」→「書く」の順に「よくできる」「だいたいできる」人の割合が多く、書くことがほとんどできない人は8%でした。

問 12 日本語を学んでいますか？また、これから学びたいと思いますか？

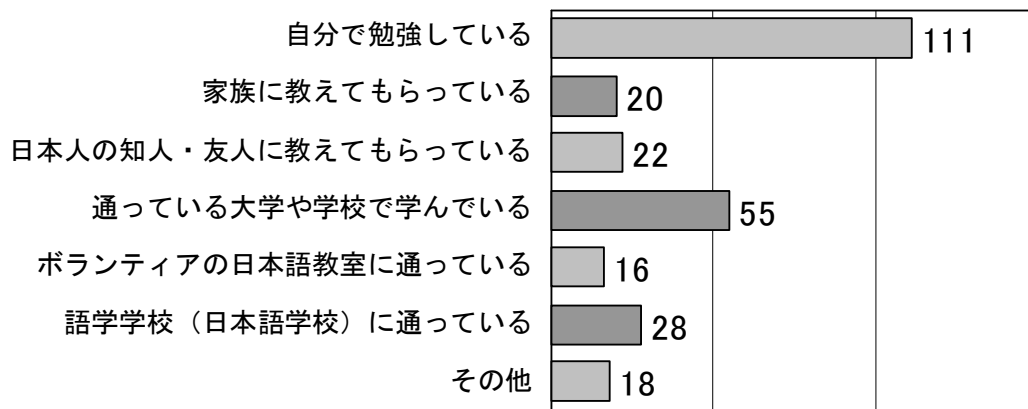


〔学習状況・学習意欲〕

現在、日本語を学びたいと思っているにもかかわらず実際に学んではいない人は22%でした。

(問 12 で「1. 学んでいる」と回答した方へ)

問 13 どうやって学んでいますか？

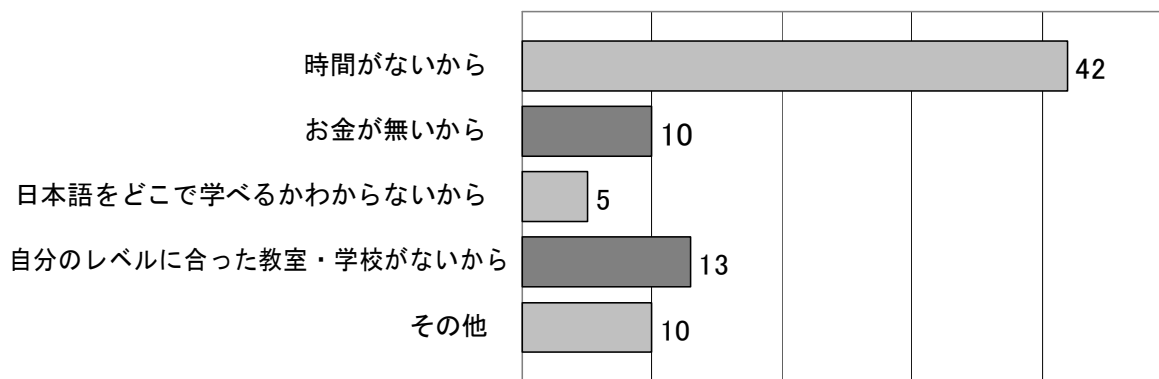


[学習方法]

自分で勉強している人が 50%。20% の人は自分で学習に加えて大学で勉強するなど、複数の方法で学んでいます。

(問 12 で「2. 学んでいないが、できれば学びたいと思う」と回答した方へ)

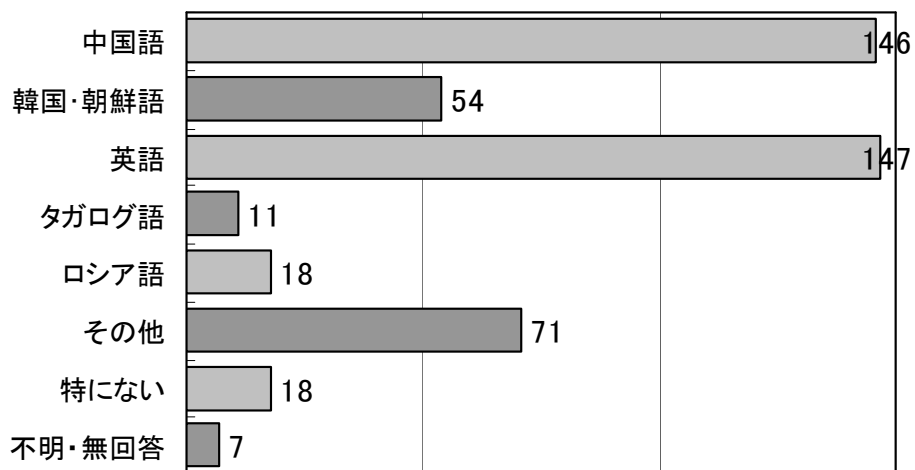
問 14 学んでいないのはなぜですか？



[学習阻害要因]

日本語を学ぶ時間がないとの回答が半数を超えています。

問 15 日本語以外でほとんど不自由なく使える言語はどれですか？

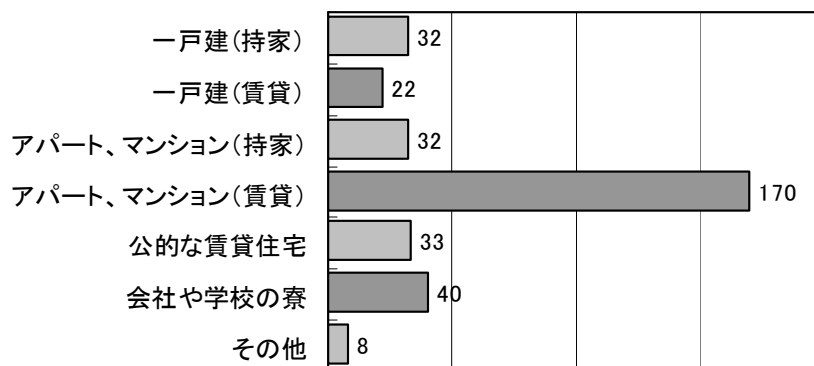


〔使用できる言語〕

日本語以外に使える言語として、中国語、英語という回答が共に約 45%でした。

住居

問 16 いま住んでいる住宅の種類はどれですか？

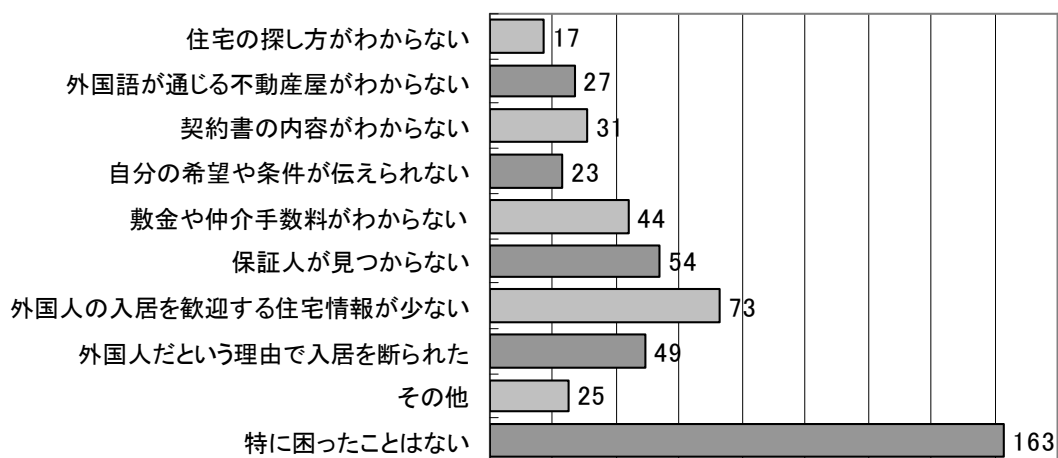


[住居形態]

半数以上が賃貸のアパート・マンションに住んでいます。

問 17 住宅に関して困ったこと、改善して欲しいことはありますか？

(4つまで選択)



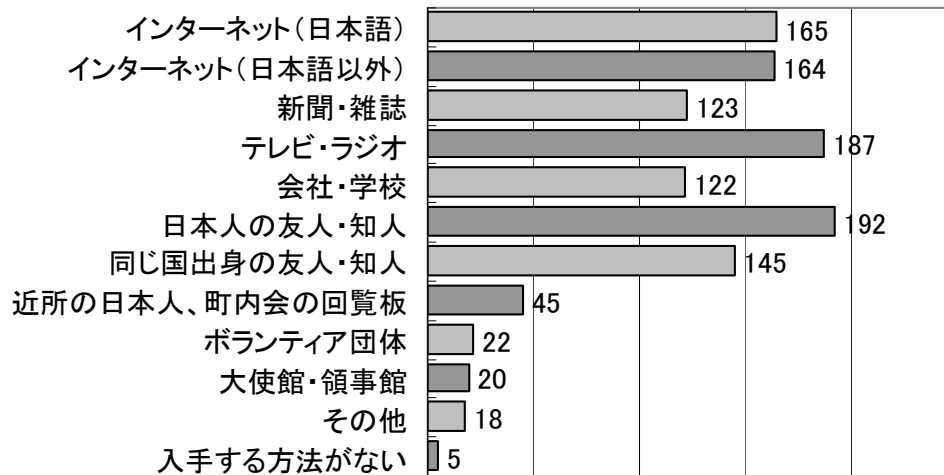
[住宅での問題]

半数以上が特に困ったことがないと回答している一方、外国人の入居を歓迎する住宅の情報が少ない、外国人だから入居拒否されたといった差別を感じている人が3割に上りました。

情報・相談

問 18 生活に必要な情報をどこから得ていますか？

(いくつでも)



[情報入手方法]

テレビやインターネット、会社、知人から情報を得ている人が多く、情報を入手する方法がないと答えた人は5人(1.5%)でした。

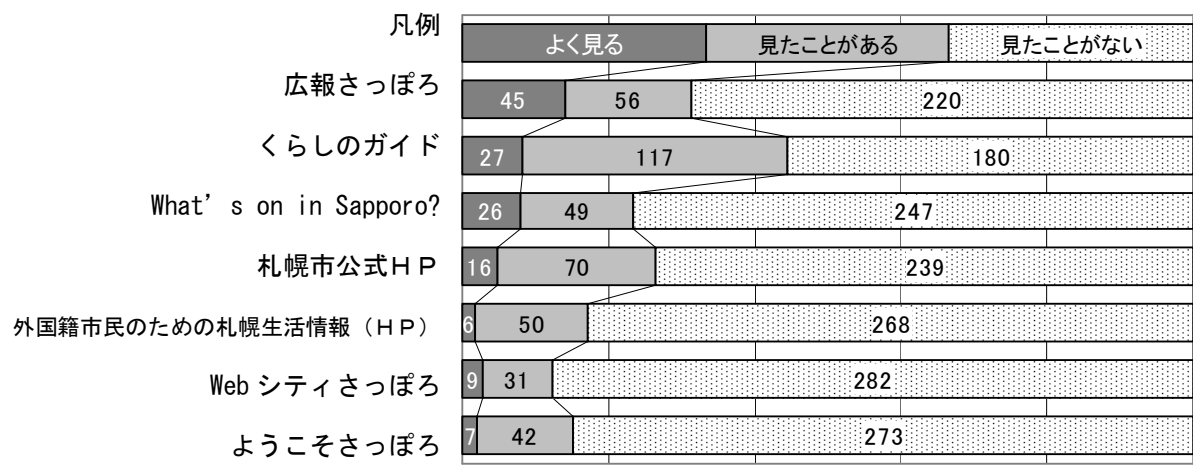
問 19 生活に必要な情報を得るためによく利用するHPがあれば教えてください

(記述式)

Yahoo!	Yahoo!社が運営するポータルサイト	61
Google	インターネットの検索エンジン	20
msn	Microsoft 社が運営するポータルサイト。	8
札幌市役所	札幌市の公式ホームページ	7
GaijinPot.com	日本国内の外国人向けに求人・生活等の情報を提供する総合サイト	6
Baidu 百度	中国製検索エンジン	5
ジャパンタイムズ オンライン	英字新聞ジャパンタイムズの web 版	5
小春日本留学フォーラム	日本に留学する中国人の情報サイト	4
What's on in Sapporo	北海道国際女性協会が発行する英語の札幌情報誌(月間)の web 版	3

検索サイト、ポータルサイトを除くと、札幌市のホームページ、GaijinPot.com、小春日本留学フォーラムなどが複数あげられました。

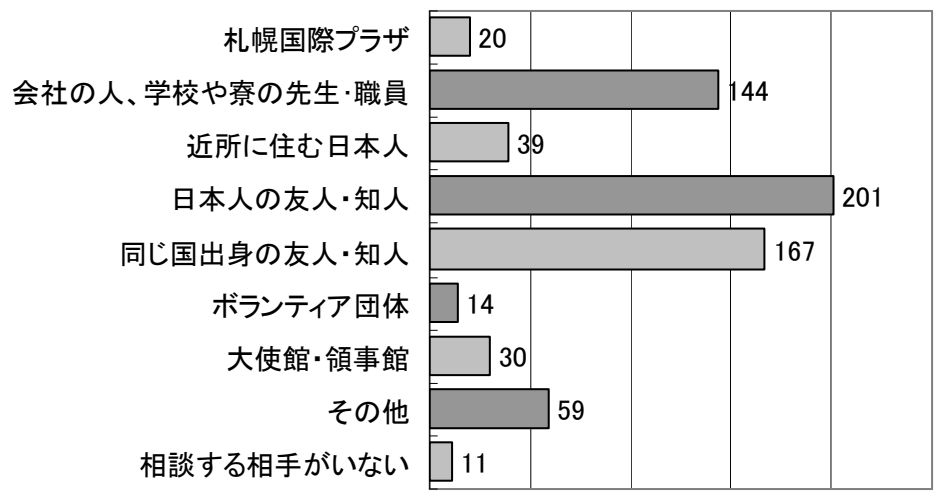
問 20 札幌市や札幌国際プラザの広報誌やHPを見たことはありますか？



[札幌市の広報ツールの認知度]
 「よく見る」「見たことがある」の合計が最も多い「くらしのガイド」が44%であり、どのツールも認知度が半数を超えていないという結果でした。

問 21 生活するうえで困ったことやわからないことを誰に相談しますか？

(いくつでも)



[相談相手]
 会社の人や友人・知人など、身近にいる人に聞く人が多く、その他と答えた人の多くは配偶者、家族、親戚と記載していました。

問 22 あなたが頼りにしているボランティア団体か同じ国出身者の団体があれば教えてください。

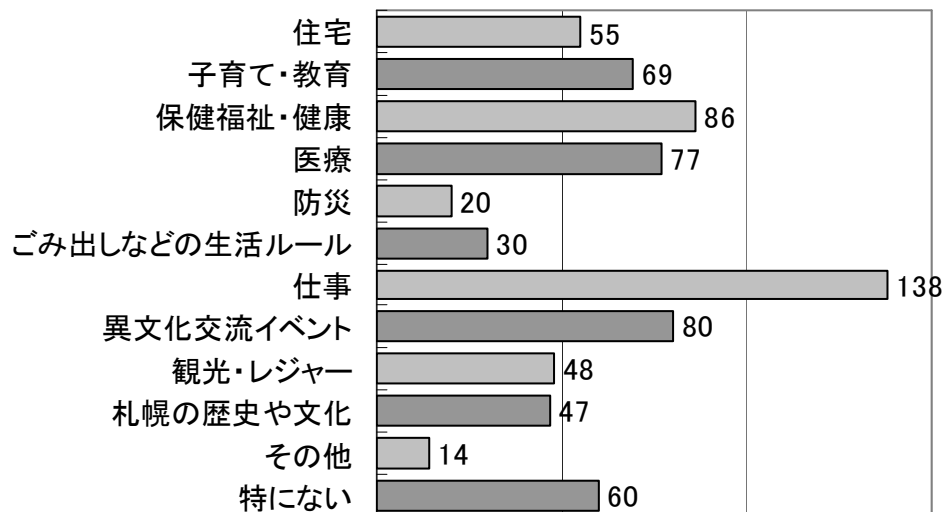
頼りにしている団体を記載した人は 48 人。

うち、学友会、「窓」、日本語クラブ、中国帰国者支援センター、韓国民団、朝鮮総連という回答が複数ありました。

北海道中国帰国者支援・交流センター	在日インドネシア留学生協会
北海道中国留学生学友会	在日タイ留学生協会
朝鮮総連	北海道地域大学台湾同窓会
韓国民団	日本語学校「窓」
フィリピン北海道協会	札幌日本語クラブ
北海道タイランドクラブ	北海道国際女性協会
北海道大学ネパール人留学生会 (HUNSSA)	札幌留学生交流センター
北海道モンゴル親善協会	教会
ASIJ(イラン人学会)	領事館

問 23 生活するうえで不足している情報はどのようなものですか？もっと情報が欲しいと思う分野を選んでください。

(3つまで)



[必要な情報]

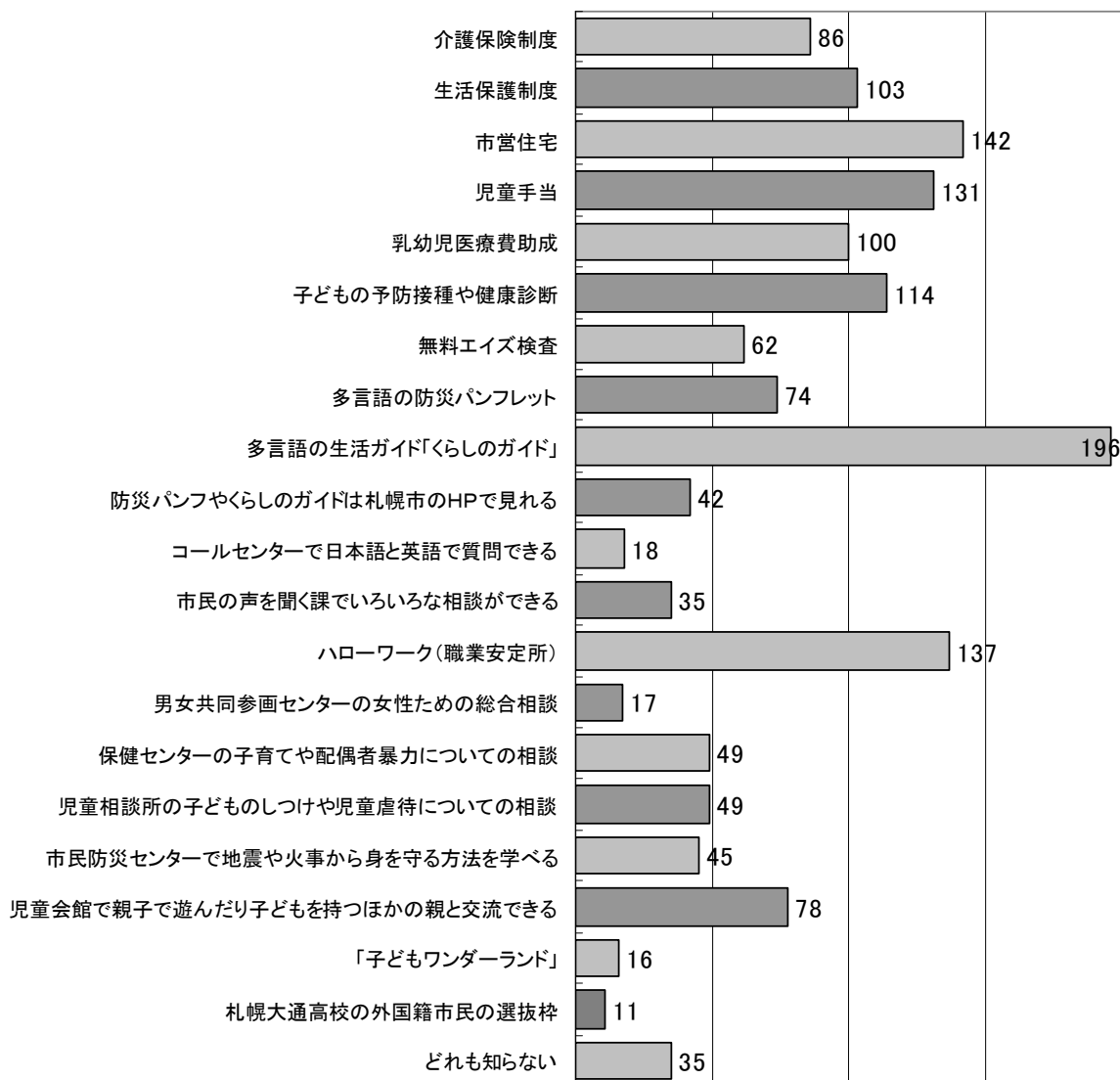
仕事の情報が欲しいと回答した人が 41%と最も多い回答でした。

また、交流イベントやレジャー情報、札幌の歴史や文化などが、「生活ルール」を上回っています。

行政サービス

問 24 札幌市や国が行っている次の行政サービスを知っていますか？

(知っているものすべて選択)

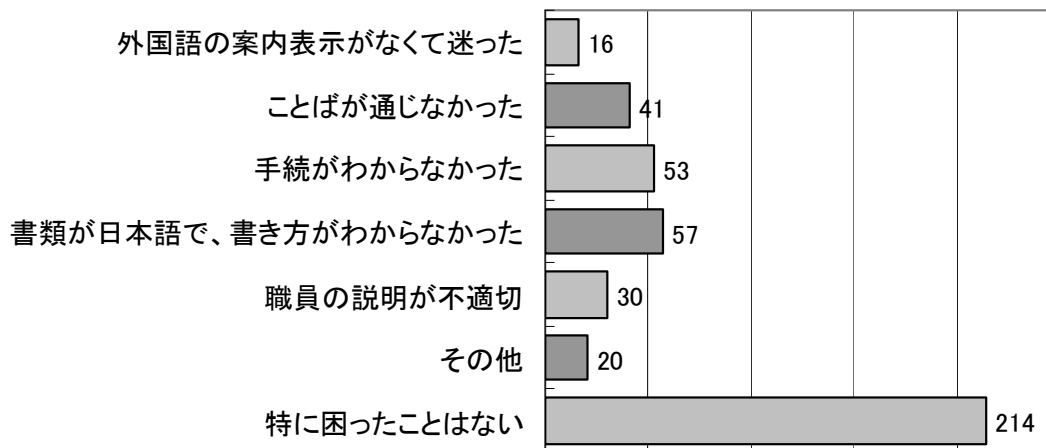


[行政サービスの認知度]

介護保険、生活保護、児童手当、予防接種など福祉・医療制度の認知度は3割程度と高い一方、札幌市コールセンターの認知度は5%にとどまりました。

問 25 区役所などで困ったことはありますか？

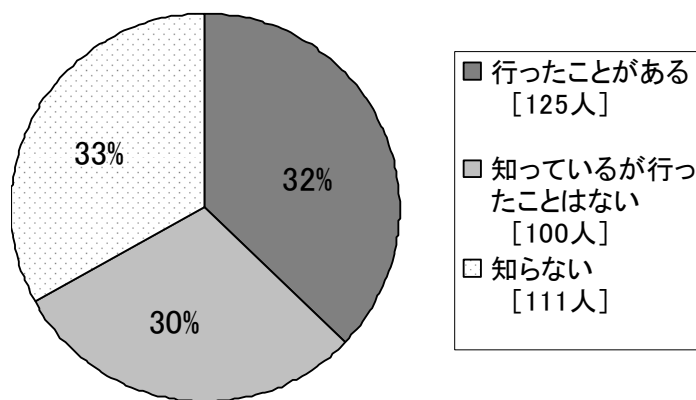
(いくつでも)



[性別]

65%が特に困ったことはないと回答。35%がなんらかの理由で不自由を感じていますが、困った理由としては、職員の対応や案内表示、書類が日本語であるなど、言語上の問題が多くあげられました。

問 26 札幌国際プラザを知っていますか？

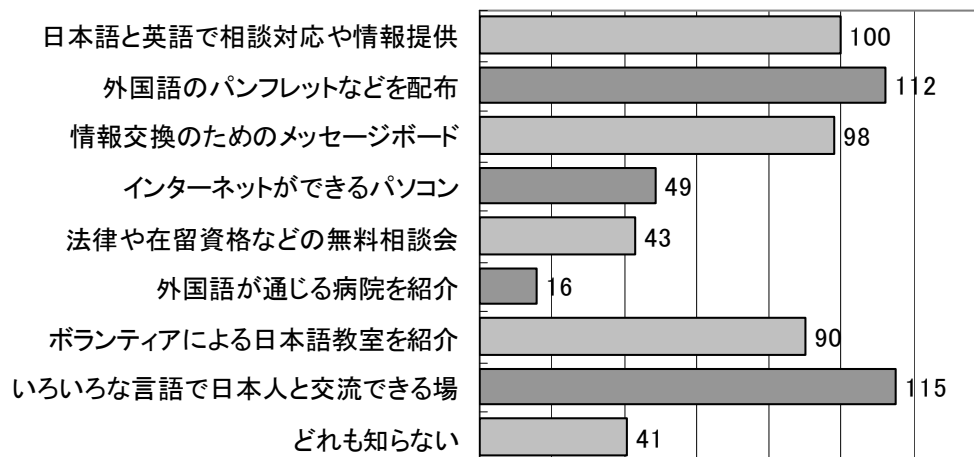


[プラザの認知度]

国際プラザを知っている人は62%で、実際に利用したことがある人は30%を超えています。

(問 26 で「1. 行ったことがある」「2. 知っているがいったことはない」と回答した方へ)

問 27 札幌国際プラザが行っている次のサービスを知っていますか？



[プラザのサービスの認知度]

外国語での情報提供や相談、交流ができることは知られていますが、法律相談や病院紹介などのサービスはあまり知られていません。

問 28 札幌国際プラザで、どんなサービスがあれば良いと思いますか？

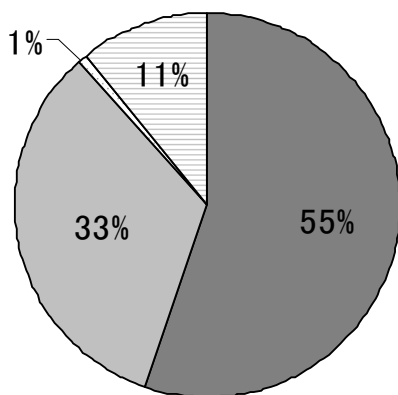
(記述式)

[主な回答]

- 就職情報（アルバイト情報）：16 件
- 交流イベント実施：10 件
- 日本語教室の開講：6 件
- 住宅情報の提供：4 件
- 翻訳・通訳サービス：3 件
- 救急病院の情報：2 件
- 観光情報の提供：2 件

保健福祉・医療

問 29 国民健康保険などの公的健康保険に加入していますか？



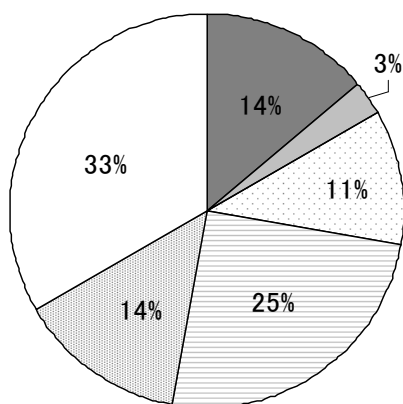
- 国民健康保険に加入している [186人]
- 勤務先(または家族の勤務先)の健康保険に加入している [111人]
- 後期高齢者医療制度の対象になっている [3人]
- 公的健康保険には加入していない [36人]

[公的医療保険の加入状況]

89%が公的医療保険に加入し、11%が未加入です。

(問 29 で「4. 公的健康保険には加入していない」と回答した方へ)

問 30 加入していないのはなぜですか？



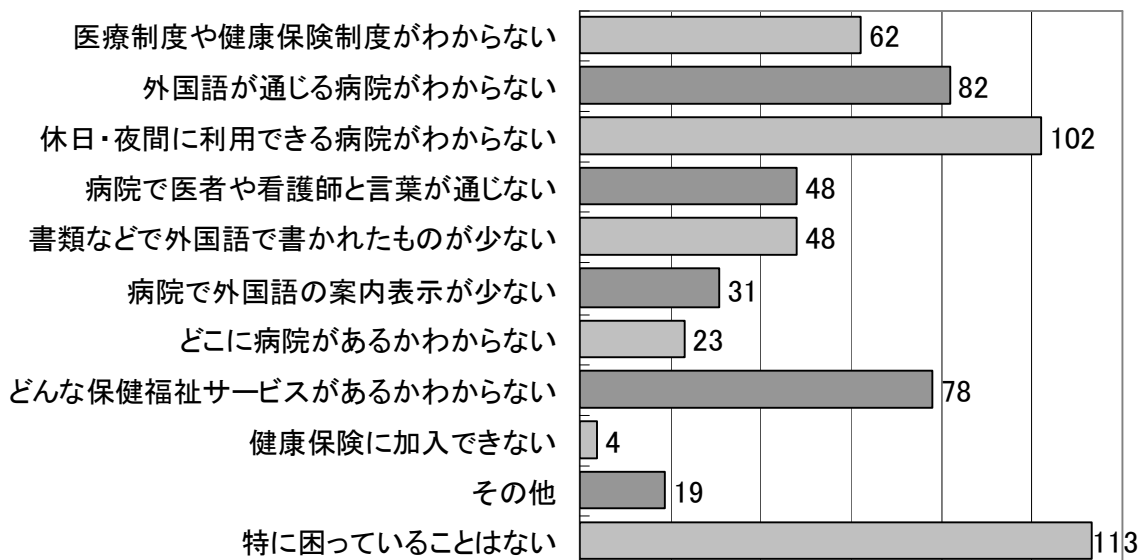
- 制度を知らなかった [5人]
- 加入方法がわからない [1人]
- 滞在期間の問題などで加入できない [4人]
- 民間の医療保険に加入している [9人]
- 健康保険の必要を感じない [5人]
- その他 [12人]

[未加入理由]

公的健康保険に加入していない人のうち、「加入できない」「民間の保険に加入」という理由で加入していないのは 39%。制度や加入方法がわからず加入していない人は 17%であった。

問 31 保健・医療のことで困っていること、改善して欲しいことはありますか？

(3つまで)



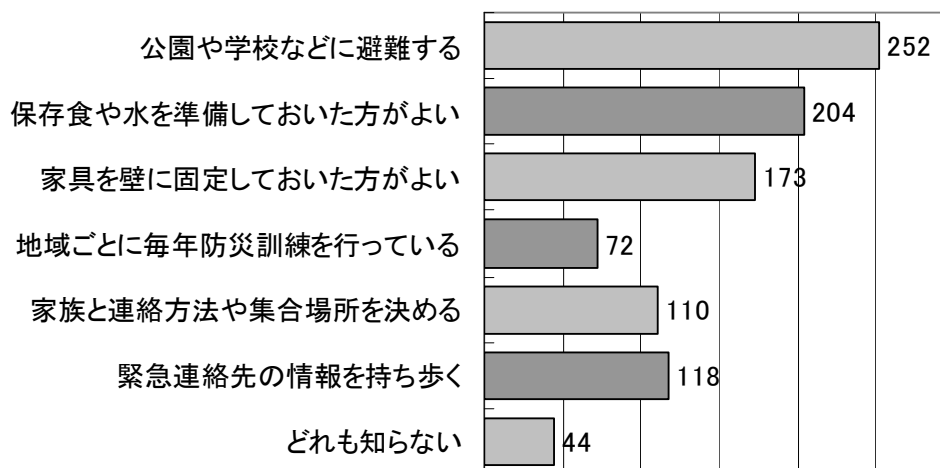
[保健・医療で困っていること]

救急病院や外国語が通じる病院の情報、医療・保健・福祉制度の情報が少ないと感じている人が多くいました。

防災

問 32 地震などの災害に関して、次のことを知っていますか？

(知っているものすべて)



[日本語能力]

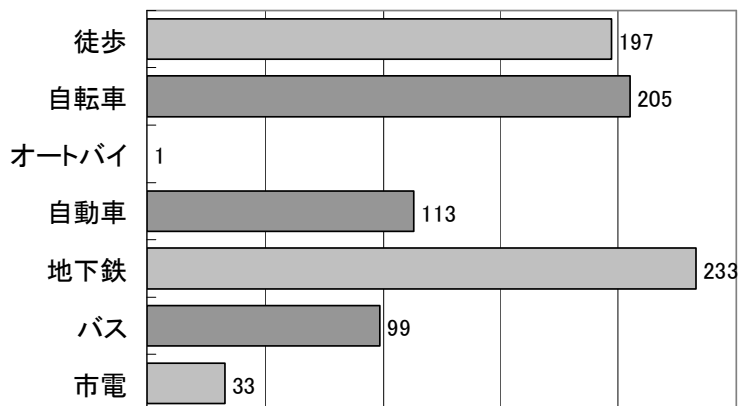
災害時に避難すること、避難道具を準備することは 6 割以上が知っており、上記すべてを知っている人も 10%を超えていました。

一方で、どれも知らないと回答した人が 13%います。

交通

問 33 ふだん、よく使う移動手段はどれですか？

(すべて選択)



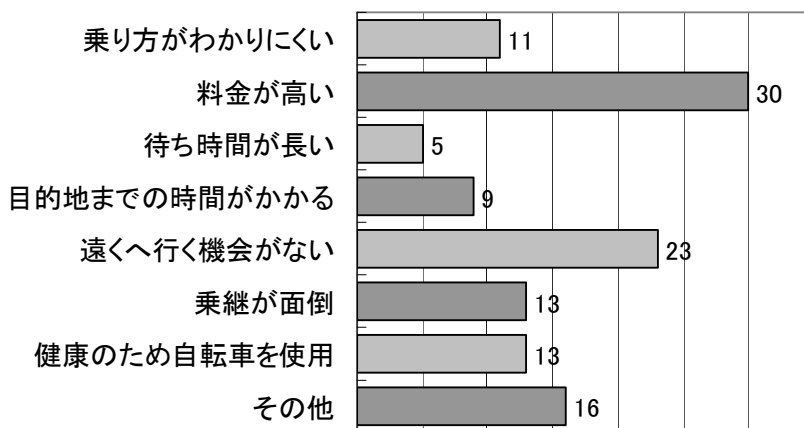
[利用する交通機関]

自転車や徒歩で移動するという人が多く、最も利用されている交通機関は地下鉄でした。

(問 33 で公共交通機関「5. 地下鉄」「6. バス」「7. 市電」を選ばなかった人へ)

問 34 公共交通機関を利用しないのはなぜですか？

(主なもの1つ)

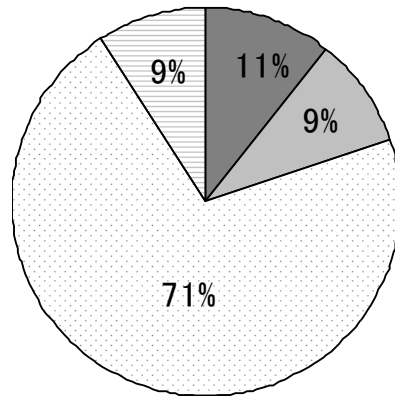


[交通機関を利用しない理由]

「料金が低い」ため利用しない人が 27%。「その他」の回答としては「バス停や地下鉄が遠い」「車や自転車の方が便利」などでした。

子育て・教育

問 35 6歳未満の子どもはいますか？

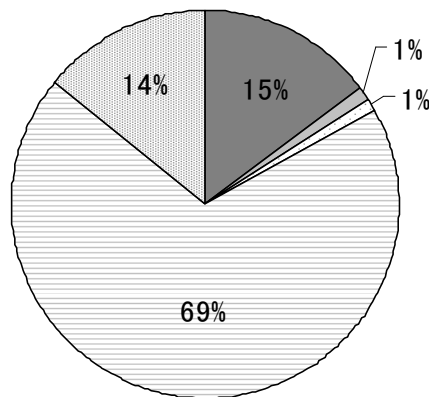


- いる(保育所か幼稚園に通っている) [36人]
- いる(保育所か幼稚園には通っていない) [30人]
- 6歳未満の子どもはいない [240人]
- 不明・無回答 [31人]

[就学年齢前の子どもの有無]

就学前の子どもがいる人のうち、ほぼ半数が保育所等を利用しています。

問 36 6歳～14歳の子どもはいますか？



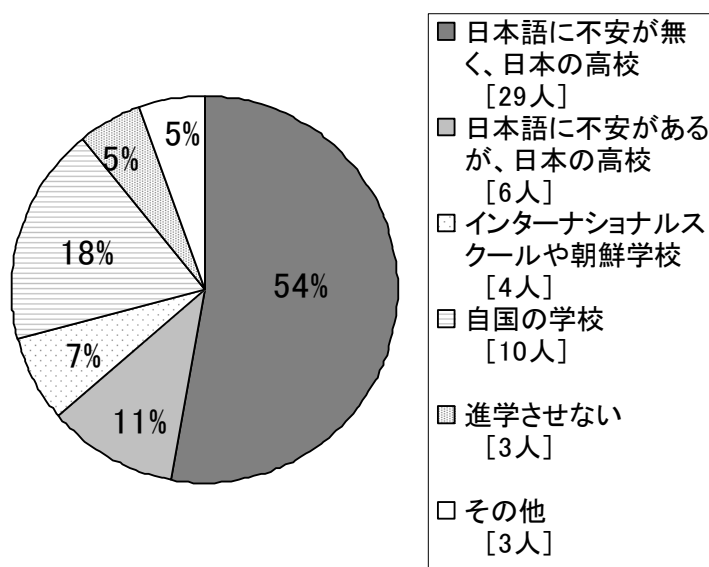
- いる(日本の小中学校に通っている) [50人]
- いる(インターナショナルスクールや朝鮮学校に通っている) [3人]
- いる(学校には通っていない) [4人]
- 6歳～14歳の子どもはいない [232人]
- 不明・無回答 [48人]

[就学年齢の子どもの有無]

就学年齢の児童のうち、87%が日本の小中学校に通い、5%がインターナショナルスクールなどに通っています。学校に通っていない児童は4人でした。

(問 36 で「1. 子どもがいる (日本の小学校か中学校に通っている)」「2. いる (インターナショナルスクールや朝鮮学校に通っている)」を選んだ人)

問 37 子どもが中学校を卒業したあと、どのような進路に進ませたいですか？



[卒業後の進路]

半数の子どもは日本語に問題がなく、日本の高校へ進学させたいとの回答です。日本語に不安を持ちつつも日本の高校に進学させたいという回答は 11% でした。

(問 36 で「3. いる (小学校や中学校には通っていない)」を選んだ人)

問 38 学校に通っていないのはなぜですか？

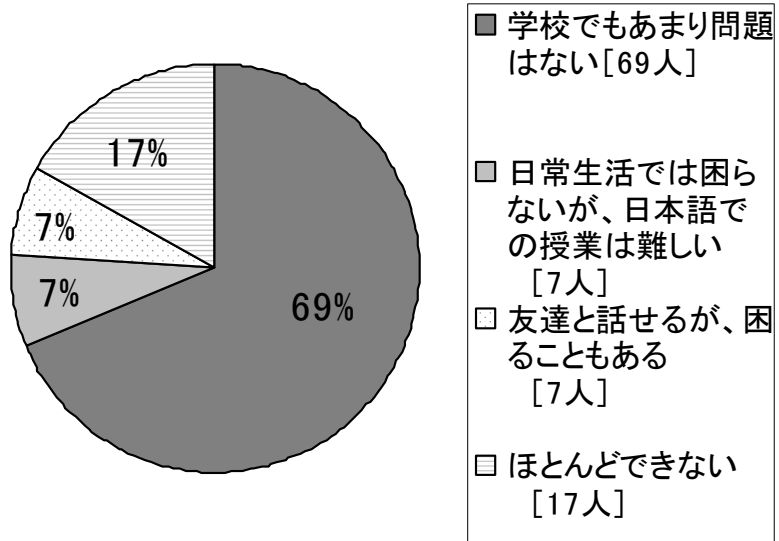
- ・「子どもが日本にいないから」
- ・「日本語がわからないから」
- ・「日本に長く住むつもりはないから」
- ・「自宅学習をしているから」

[不就学の理由]

子どもは学校に通っていないと回答した 4 人の回答は上記のとおりでした。

(子どもがいる人へ)

問 39 子どもは日本語をどのくらいできますか？



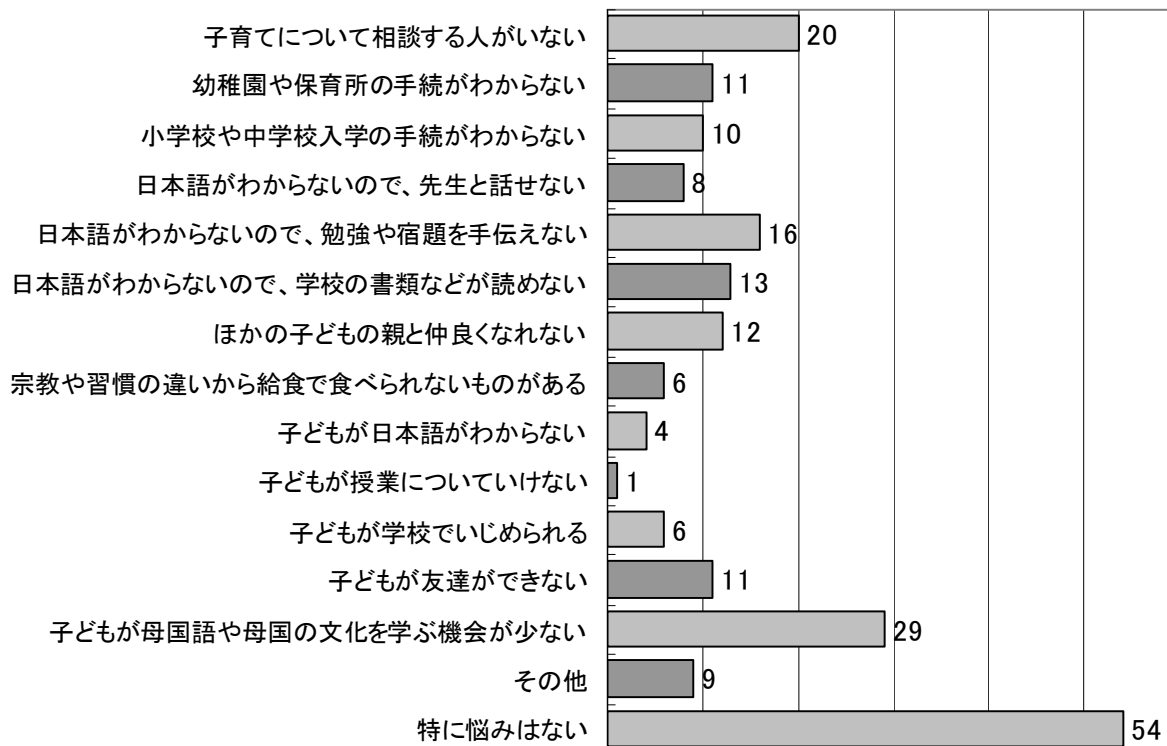
[子どもの日本語能力]

約 70%の子どもは日本語に問題がありませんが、「ほとんどできない」という子どもは 17%います。

(子どもがいる人へ)

問 40 子育てや子どもの教育について心配なことや困っていることはありますか？

(あてはまるものをいくつでも)



[子育ての問題]

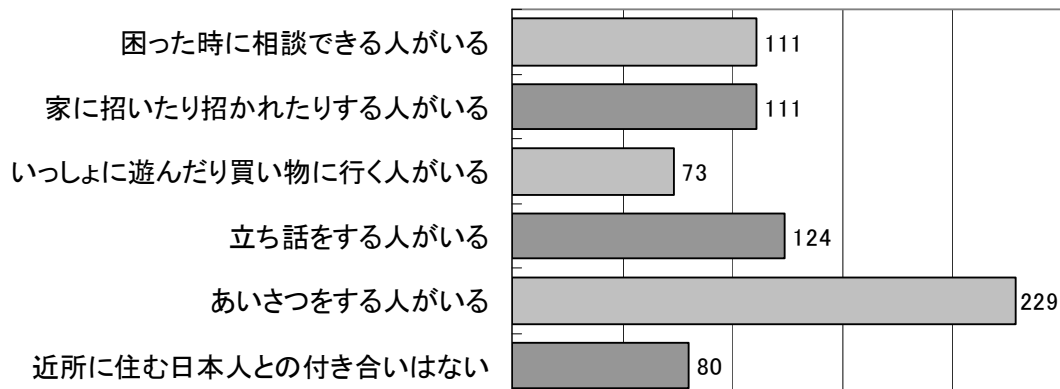
約半数は特に悩みがないと回答しています。

子どもに母国について学ばせる機会がないという回答が最も多く、自分が日本語がわからないため、学校の書類を読んだり勉強を教えられないという親の悩みも多く挙げられました。

地域参加

問 41 近所に住んでいる日本人との付き合いについてあてはまるものを選んでください。

(いくつでも)

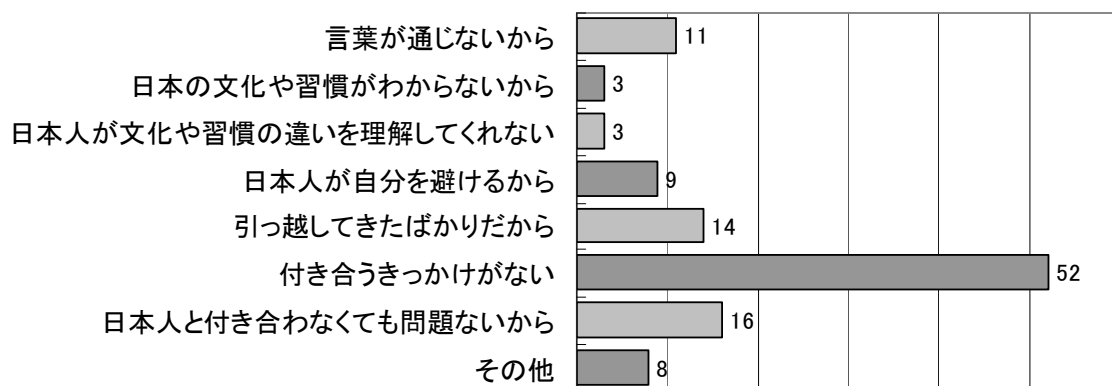


[地域参加]

近所との付き合いがないという回答が 20%で、「あいさつをする人がいる」のみを選んだ人は 24%でした。

(問 41 で「6. 近所に住む日本人との付き合いはない」を選んだ人へ)

問 42 日本人と付き合いわないのはなぜですか？

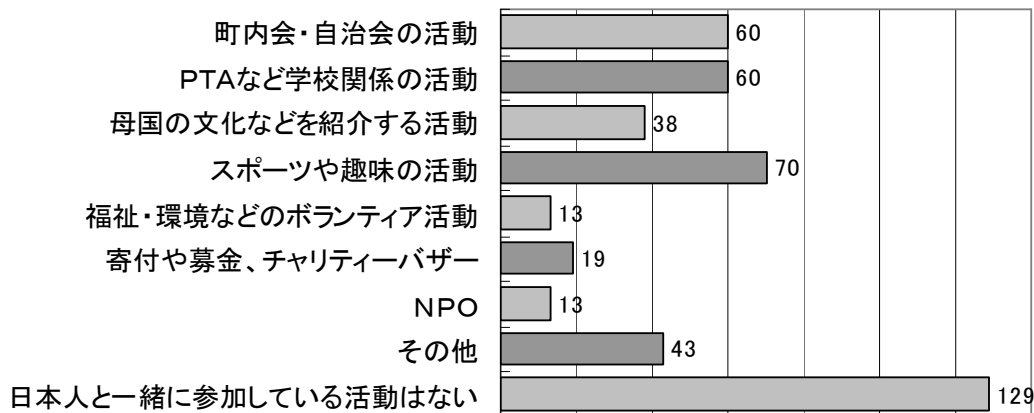


[日本人と付き合いわない理由]

きっかけがないので付き合いわないという回答した人が 38 人と最も多く、日本人に避けられていると感じている人は 9 人いました。

問 43 ふだん、住んでいる地域で日本人と一緒に参加している活動はありますか？

(いくつでも)

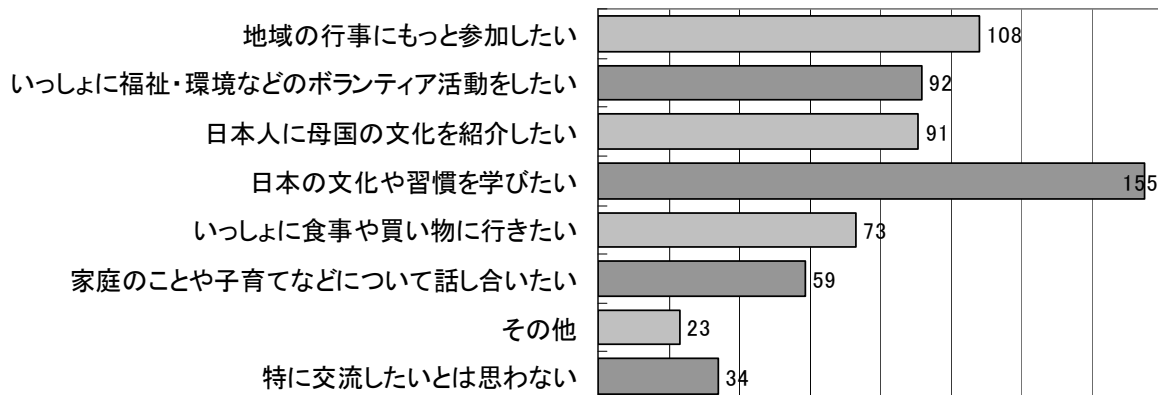


[地域活動への参加]

日本人と一緒に活動には参加していないと回答した人は 4 割で、半数以上の人々が地域で日本人と一緒に活動に参加しています。

問 44 今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか？

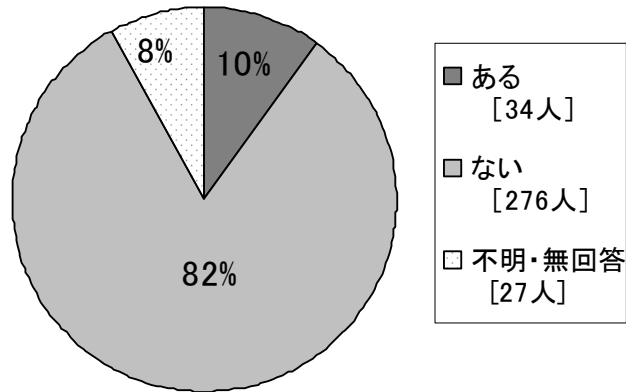
(いくつでも)



[交流意欲]

日本の文化を学びたい、地域の行事に参加したいなど、日本の暮らしに馴染めるような活動を希望する回答がたくさんありました。

問 45 生活するうえで、近所の人とのトラブルや困ったことはありますか？

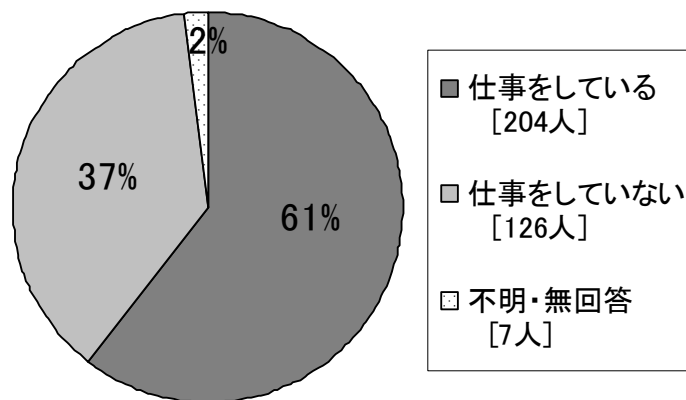


【「トラブルがある」という回答のうち、主な内容】

- ①日本の若者は夜中に遊ぶのでうるさい。音楽を大音量で聴くのでうるさい。
- ②自転車のマナーが悪い（無点灯、歩道通行など）。
- ③マンションの管理人が厳しい。管理人等とコミュニケーションが取れない。
- ④外国人は差別される。トラブルがあると外国人が悪者にされる。
- ⑤料理のスパイスの臭いで揉める。
- ⑥ゴミ捨てのトラブル。うるさくゴミのチェックをする人がいる。カラスがゴミを漁る。
- ⑦子どもが家で遊ぶとうるさいと怒られる。
- ⑧同じアパートに住んでいる子どもが家の中で遊ぶので騒々しい。
- ⑨嫁姑問題で悩んでいる。
- ⑩自転車が盗まれた。
- ⑪挨拶したのに無視された。
- ⑫近所の人々の家庭内暴力。
- ⑬除雪の問題。

仕事

問 46 いま仕事をしていますか？（アルバイトも含む）



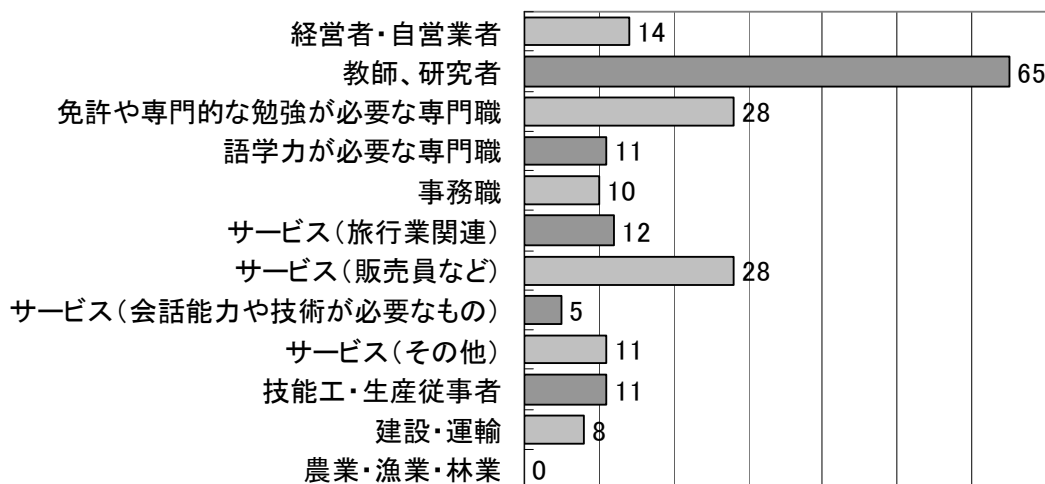
[稼働状況]

回答者のうち 61%が、現在仕事を持っています。

(問 46 で「1. 仕事をしている」を選んだ人へ)

問 47 仕事の内容はどのようなものですか？

(近いものを1つ)

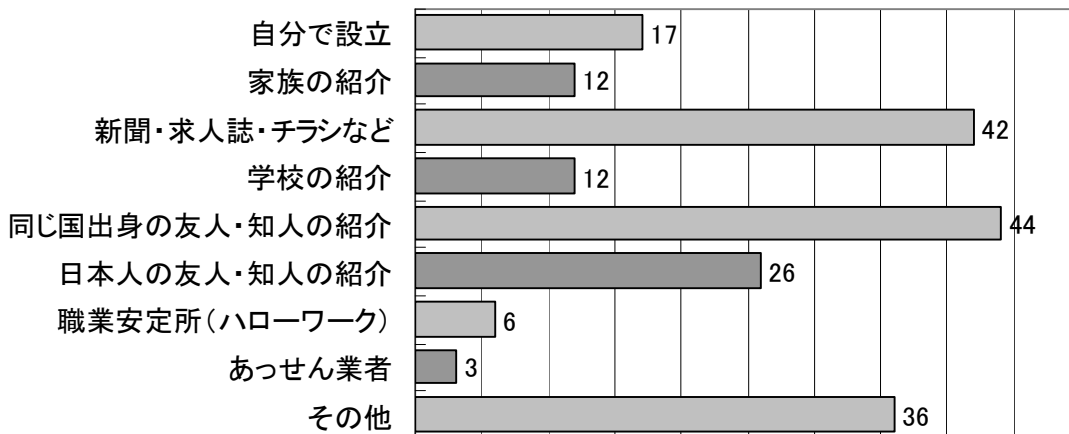


[職種]

教師や研究者と回答した人が最も多く、稼働者のほとんどが第三次産業に従事しています。

(問 46 で「1. 仕事をしている」を選んだ人へ)

問 48 いまの仕事をどうやって見つけましたか？

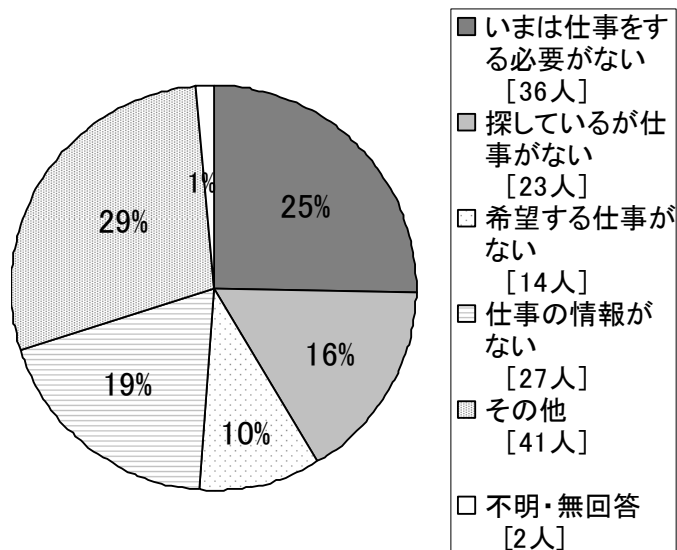


[年齢]

同じ国出身、または日本人の知人の紹介が 3 割以上を占め、ハローワークで仕事を見つけた人は 3% しかいませんでした。

(問 46 で「2. 仕事をしていない」を選んだ人へ)

問 49 仕事をしていないのはなぜですか？



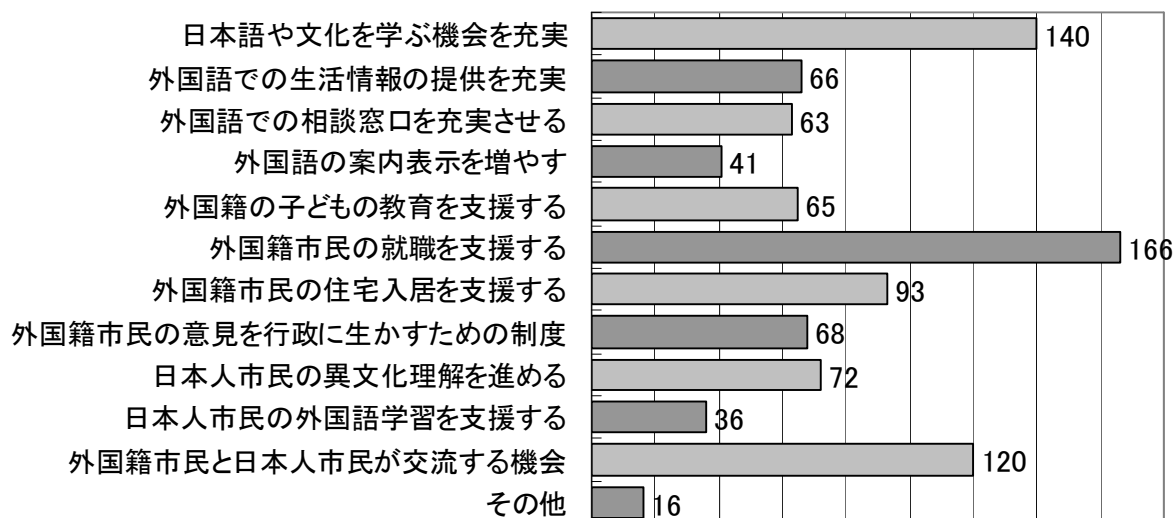
[仕事をしていない理由]

「仕事を探しているが見つからない」「仕事の情報が ない」など、働く意思があるにも関わらず仕事についていない人が、非稼働者の半数近くいました。

その他

問 50 札幌が外国籍市民にとって暮らしやすいまちになるためには、何をすればよいと思いますか？

(重要だと思うもの4つまで)



[今後の施策]

「就職の支援」のほか、「日本語や文化を学ぶ機会」や「外国籍市民と日本人が交流する機会」が多く選ばれました。

問 51 生活の中で困っていることや札幌市に取り組んでほしいことなど

(自由記載)

[主な要望]

【言語・情報・交流】

- ・各制度など、もっと色々な情報を提供して欲しい
(このアンケートで初めて知った制度がたくさんある)
- ・公的書類(重要な手続きや請求書など)は英訳して欲しい
- ・英語の情報を手に入れられる場所を増やして欲しい
- ・外国籍市民向けの日本語教室を作って(増やして)欲しい
- ・日本語や文化を学ぶ機会を増やして欲しい
- ・日本人と交流する機会を増やして欲しい
- ・24時間体制で相談できる窓口を設置して欲しい

【仕事】

- ・就職先を紹介して欲しい(自分のスキルを生かせる、母国語が使える)
- ・起業支援をして欲しい
- ・女性の仕事を増やして欲しい

【制度や法律の改正】

- ・朝鮮学校への処遇を見直して欲しい
- ・日本で生まれた人には選挙権を与えて欲しい
- ・国民健康保険料を安くして欲しい
- ・外国人の在留資格や土地購入の制限を緩和して欲しい
- ・教育、高齢者医療などで民族差別をなくして欲しい
- ・税金を安くして欲しい
- ・住民票に載せて欲しい
- ・老後の生活保障

【支援、サービスなど】

- ・住宅費の援助、市営住宅への入居
- ・特別な支援を要する子どもに対するサポートを増やして欲しい
- ・電線の撤去、ゴミ箱の設置をし、もっと景観を良くして欲しい
- ・区役所の職員の態度を改善して欲しい
- ・同性愛者への支援をして欲しい
- ・サイクリングロードなど道路の整備を進めて欲しい(街灯なども)
- ・現地の食材が手に入るようにして欲しい
- ・保育所の一時預かりを増やして欲しい
- ・イスラム教の人が食べられる料理や食材を提供する場所を増やして欲しい
- ・千歳空港を大きくすると良い(混雑していて待ち時間が長い)